

小呂野通信

令和5年12月号 (第38号)

発行日 2023.12.25(月)

〒041-0806

函館市美原5丁目31番10号



(2023.10.28(土)NPO 法人小呂野 富原果樹園りんご収穫体験)

黙っていても汗が吹き出した今年の夏。ストーブなんてフレーズは聞いたかないと思っていた日々が遠い昔に感じられる今日この頃…時が経つのは早いもので、年の暮れを迎えました。

突然ですが、皆さんはどんな時に、“集う”体験をしてきましたか。お正月やお盆に家族や親戚で集まる。学校や友人と遊ぶ。会社でミーティングをする。仲間とお酒を飲む。イベントや地域のお祭りに参加する…例を挙げてみると、ごく日常的なものから、数年に一回あるかないかの集まりまで、世の中には様々な“集い”があり、それぞれの人にとって“集い”に対する想いや考えは異なるはずです。

人が“集う”ことの価値ってなにかな？と、りんご狩りの写真を眺め、当日のことを懐かしみ、考えていました。コロナウイルスの流行で、ZOOMのようなネット会議システム技術が発達し、共同で作業したり、同じ体験を共有する機会が減りました。集まる機会ができたとしても、人数を減らしたり、時間を短くしたり、人と人との距離を空けたりと、私たちは生活様式を変化させました。“集う”意味は様々にありますが、“ともに遊び楽しむ”という観点を大切にしたいと考えています。



きっと誰しもこころの中に、“あんなこといいな、できたらいいな”そんな想いを抱いていると思います。そんな“集い”のきっかけ作りを、法人としてもっと取り組めたら良いなと、甘いりんごの香りを思い出しながら、振り返っています。

今年も大変お世話になり、ありがとうございました！

スタッフ一同

前回通信発行(R5.7/23)

以降の活動 🦊

- 毎週(月) 教育大学
基盤と専門職Ⅰ(前期)
- 毎週(火) 教育大学
医療福祉論(前期)
相談援助演習Ⅲ(前期)
司法福祉論
- 毎週(水) 高専SSW
- 毎週(金) 教育大学
権利擁護と成年後見制度(前期)
- 8/2(水) 小呂野通信発送
- 8/20(日) 北海道社会福祉士会
司法と福祉の連携講師
NPOまつり
- 8/21(月) 調停
- 8/22(火) 保護司会処遇会議
- 8/23(水) 司法と福祉の連携勉強会
- 8/25(金) 調停
- 8/26(土) 北海道社会福祉士会
基礎研修Ⅲ 受講
(権利擁護法学)
- 8/27(日) 北海道社会福祉士会
基礎研修Ⅲ 受講
(地域開発政策)
- 8/28(月) 事例検討会
- 8/30(水) 地域まちづくり推進委員
研修
- 9/3(日) 成年後見人材育成研修
- 9/6(水) 少年友の会事業部会
- 9/15(金) 調停
- 9/21(木) 処遇会議
- 9/22(土) 函館養護学校勉強会講師
障害年金について
- 9/25(月) 三士会
- 9/28(木) 支部定例学習会
- 9/29(金) スーパービジョン研修
- 10/12(木) 地域まちづくり推進委員会
SW三団体合同研修
実行委員会 ZOOM
- 10/13(金) 処遇会議
- 10/14(土) 日本福祉大セミナー
(右枠につづく…)

- 10/19(木) 地域まちづくり推進委員会議
- 10/21(土) 調停無料相談会
- 10/22(日) 基礎研修Ⅰ(受講)
ソーシャルワーク理論
- 10/25(水) 司法福祉連携勉強会
- 10/28(土) りんご収穫体験 🍎
- 10/31(火) 七飯町介護保険策定
委員会
- 10/31(火) 食品衛生責任者講習
- 11/6(月) 成年後見事例検討会
- 11/8(水) 調停総務委員会
- 11/10(金) 札幌高裁
- 11/11(土) 脳外傷リハビリテーション講習
- 11/12(日) 北海道社会福祉士会
刑事司法事例提供
- 11/17(金) 地域まちづくり推進会議
- 11/18(土) 基礎研修Ⅲ(地域開発政策)
- 11/19(日) 基礎研修Ⅲ(サービス管理)
- 11/27(月) 七飯町介護保険策定
委員会
- 11/28(火) SW三団体合同研修実行
委員会
- 11/30(木) 支部定例学習会
- 12/1(金) 地域まちづくり推進委員会議
- 12/6(水) 調停理事会
- 12/11(月) 共働宿泊所監事会
- 12/13(水) 篤志面接
- 12/16(土) 基礎研修Ⅱ(実践研究講師)
- 12/17(日) 日本社会福祉士会
独立型研修ファシリテーター



夏頃にお届けした通信から、少し時間が経過してしまいました。酷暑の山を越え、秋は北風小僧にかっさらわれ、あっという間に白銀の世界です。今年の小呂野は、なんとと言っても法人理念“よりよく生きること”を支援するために。そして、この理念を継続し、より強固なものにする為に、スタッフを3名増やし挑んだ挑戦の一年でした。法人での取り組みにおいて、様々な場面で必要な話し合いを重ね、相互批判し切磋琢磨してきました。支援の意味を改めて考えた一年でした。後見活動、地域活動、教育研修活動、総合相談等、どの取り組みにおいても、これをやればいい。あれをやればいい。という考えではなく、なぜ取り組むのかを理解し、何ができるかを考えていくこと。そしてその過程が重要であると感じています。

感度を高め、アグレッシブに取り組んで参ります。



NPO まつりに参加して

まだまだ暑かった 7/23(日)、4年ぶりの開催となったNPO まつりに小呂野も参加しました。

ポスター展示とブースへの参加。小さな本屋をテーマに、様々な本を並べました。小さなお子



さんから、杖をついた年配の方まで、たくさんの方にお立ち寄りいただけました。

法人パンフレットを手にとり、取り組みに関心をもってくれた方、応援の言葉のほかに、「ゆっくり本を読み遊びに行けたらいいな」というご要望も聞かれました。

各ブースでは他団体の活動を見たり、体験もでき、刺激と学びの時間となりました。

参加したことで得た気づきを、今後の活動に生かしていきたいと思います。



感謝

通信等でお伝えしているとおり、私たち小呂野は権利擁護活動の一環として、成年後見活動を行っています。

“感謝”

これは今月末、お手伝いしている被後見人からいただいた手紙に書かれていた言葉です。

少し前、被後見人の自宅を訪問した際、映画「東京物語」について唐突に語り始めました。

映画では、日本の家族制度がどう崩壊するかを描いています。年老いた両親が東京で暮らす息子や娘を遠路はるばる訪ねます。最初は歓迎した子どもたちも、次第に邪険になります。戦地から戻らぬ息子の嫁、血の繋がらない義理の娘だけが温かい真情を示します。

「なんだか、後見人さんたちはそんな感じがする。出会えたことに感謝なんです。」と語ってくれました。糖尿病もある被後見人。空っぽになったジュースのペットボトルに囲まれながら、「甘いものは控えてるよ」と満面の笑み。

こころ揺さぶられっぱなしの後見活動です。



←被後見人作のクリスマスリースが小呂野玄関をきらめかせてれています！

合作

意見が異なる場面。こうすれば絶対という正解がない状況。意識の違いを危惧してお互い気を使いすぎてしまった…。そんな経験が、みなさんにもきっとあると思います。

右の写真は、スタッフみんなで作成した看板です。どんな素材を使う？色はどうする？設置方法は？最終的に、三色ふくろうだって、ゴリラだって、タコだって乗っちゃっている、個性的な看板に仕上がりました。

地道に、コツコツ、ラッカーを塗り重ね、ご覧のとりの看板が完成しました。

知恵も技術も融合させて、これからもスタッフ一同ますますがんばります・

いつも応援ありがとうございます！これからもどうぞ、よろしくお願いいたします！



語りたいシリーズ第3弾

テレビの番組表でタイトルに「解」や「字」と表記されているものを見たことがあると思うが、どんな機能かご存じだろうか。

これは、解説放送(音声ガイド)・文字放送(字幕ガイド)の略で、目が不自由な方や耳が不自由な方のために音声解説や文字表示をすることができることを表している。(テレビのリモコンで操作可能)

同じような機能を映画館で使えるアプリも存在し、「UDCast」や「HELLO MOVIE」を携帯端末にインストールすると映画館の音に自動で合わせて、専用ゴーグル(施設により無料貸出あり)に文字を表示したり、イヤホンで解説を聞くことができる。

この音声・字幕ガイドは目が不自由な方や耳が不自由な方だけではなく、例えば、家事をしながらドラマを見たいとか、大きい音は出せないけど話している内容は知りたい時に使える。

ある映画のワンシーンでは、白杖を使いながら廊下を歩く場面で、見ているだけなら「この人は目が不自由な人なんだな」と思う程度だが、音声ガイドでは「白杖を使って歩いている。白杖の先は床に着いていない。」と解説が入るので、「あれ?この人もしかして見えてる?」と違った目線で先の展開を楽しむこともできる。

最近では、大みそかの紅白歌合戦で、裏の声として色々な情報を話されていたり、映画やドラマの出演者による制作裏話が聞けるなど制作側も色々仕掛けているので是非使ってみて欲しい。

※アプリ使用上の注意

- アプリの利用は無料
- 事前に作品のデータをダウンロードする必要がある(データがない場合もある)
- 鑑賞中は携帯端末の電源を“ON”にしておく必要があるため、「機内モード」に切り替える
- 音声ガイドは必ずイヤホンを使う
- バッテリーの残量に注意

前川

今年もあとチョットになりました。みなさんにとって、2023年はどんな一年でしたか。大きく変化したこと。時間やパワーを費やしたこと。失敗から学んだこと…たくさんあって思い出せないよ!という方もいらっしゃるかもしれません。

わたしは少し体調がイマイチな時期もありましたが、回復!事務所中をパトロールして回ったりスタッフを鼓舞したり、お客さんのお出迎えをしたり。振り返ると沢山あります。

みんなが話し合いをする声、コーヒーを入れる音、あったかい窓際(ご主人デスクの後ろがわたしの特等席!)目を閉じていてもわたしはしっかり聞いてます。



来年も、しまちゃん日誌あそびにきてね!

しま

編集後記

「伝えることは大変だけど、面白い。」先日しまちゃんが日誌に書いていました。「言えない」と「言わない」の違いを意識するようになったのは、恥ずかしながらくごく最近のことです。

「我慢しないで言う。そして言ったことに責任を持つ。」加えて、伝え方にもコツが必要で。いかなることも鍛錬であると気づいた2023年のクリスマスです。

こにし



〒0410806

函館市美原5丁目31-10

TEL 0138-83-8471

FAX 0138-83-8472

MAIL simasakura1@gmail.com

特定非営利活動法人 小呂野

ゆあさ社会福祉士事務所 ●

湯浅 弥 湯浅 留美

湯浅 しま 高橋 鑑一

小西 真帆 前川 智也

藤山けやき 宇美 隆浩